

仲間を増やす秋の拡大 追い上げ、上積み最終盤へ

八王子・第7 若手加入で目標達成 「面白そう」で青年部にも

【八王子・書記・竹内史朗 通信員】八王子支部第7分会は、火災共済口座登録キャンペーンなど、仲間への声かけや対象者情報の共有を中心に拡大行動に取り組んでいきます。行動後は、毎回チャット一杯やりながら組合のことや仕事のことなど、飲みニケーションにも力を入れています。



2人の加入を取り付け目標達成した第7分会のみなさん

あまりの寒さに、今日は電話掛けや次回の訪問準備に切り替えようか...となりかけた時に、河西敷分会長が率先して「最近仕事が忙しくて、拡大行動に参加できないことが多かったから、外を回って

合に加入。動機は一人親方労働者の加入でしたが、説明を聞くなかで、土建国保などの制度利用も検討していくことに。また独立開業をめざす「起業セミナー」など青年部の計

率先进動く分会長 分会独自のチラシ活用も

【大田・書記・川本 通信員】大田支部の六郷分会のセンターに9人が集結、そこに支部役員3人が激励の訪問を行っていました。

【大田・書記・川本 通信員】大田支部の六郷分会のセンターに9人が集結、そこに支部役員3人が激励の訪問を行っていました。

2022年秋の拡大月間到達 (10月17日)

支部名	目標	累計	月間の拡大率	支部名	目標	累計	月間の拡大率
足立	300	95	1.1	中野	172	101	2.06
荒川	67	27	1.41	杉並	113	86	2.68
葛飾	152	106	2.45	三鷹武蔵野	73	62	2.98
文京	38	27	2.53	狛江	★47	48	3.61
台東	52	20	1.35	調布	97	45	1.63
墨田	93	82	3.09	多摩西部	★138	149	3.79
江東	112	93	2.92	西多摩	141	89	2.21
江戸川	312	226	2.53	小金井国分寺	45	30	2.36
板橋	171	123	2.52	府中国立	★100	111	3.92
豊島	75	55	2.59	八王子	79	47	2.08
北	95	74	2.73	日野	81	29	1.26
練馬	235	133	1.98	多摩・稲城	76	58	2.70
港	45	24	1.89	町田	91	39	1.5
品川	75	25	1.18	小平東村山	95	50	1.84
大田	155	79	1.78	清瀬久留米	59	20	1.18
目黒	★76	90	4.14	西東京	59	51	3.03
渋谷	103	47	1.59	村山大和	71	19	0.94
世田谷	164	109	2.33	全支部合計	3923	2510	2.25%
新宿	66	41	2.20				

★は目標達成



資料を手渡すさくら分会の古賀龍昌さん(右)

最終盤に向け、団結し、15年連続の全分会目標達成へ諦めない姿勢で奮闘します。

【豊島・書記・川合正人 通信員】豊島支部では、訪問先では、普段通りの反応が大半です。仲間からは「声をかけてもらってありがたい」と、訪問に出かけました。それを受けて、みんなでポスティングや訪問行動に打って出しました。分会長は徒歩で近場に、他のメンバーは車で少し遠い場所をカバー。すぐに分担して動ける組織力が

【豊島・書記・川合正人 通信員】豊島支部では、訪問先では、普段通りの反応が大半です。仲間からは「声をかけてもらってありがたい」と、訪問に出かけました。それを受けて、みんなでポスティングや訪問行動に打って出しました。分会長は徒歩で近場に、他のメンバーは車で少し遠い場所をカバー。すぐに分担して動ける組織力が

豊島 「声かけありがたい」 独自のコロナ見舞も周知

この拡大チラシは、10月10日の朝刊折り込みで地域に配布しました。また、分会執行委員会が群長に配布し、今後と対話が進んでいます。青年部と後継者対策部では、独自行動日を設定していません。若い仲間の厳しい生活実態、働き方改革への対応の必要性などを確認し、対話から信頼関係が高まり、未加入者の紹介にもつながっています。青年部・後継者対策部イベントのお誘いから改めて、拡大への協力を訴えています。また、コロナに感染したという相談も多く寄せられています。大会後の交流会では3分会から5人の拡大持ち寄り成果もあり、支部全体で47人の新加入者を迎え、支部目標の50%拡大率(25%)を超える到達に。後半戦にむけて全分会から力強い決意表明がありました。



六郷分会組織部長の遠藤正樹さん(写真中央)

化学物質「MOCA(モカ)」による 膀胱がん労災申請

MOCA(モカ)とは？

防水材、床材や全天候型舗装材などに利用されるウレタン樹脂の「硬化剤」で、従来から「特定化学物質障害予防規則」の「特定第2類物質」及び「特別管理物質」とされています。

この化学物質「MOCA(モカ)」によって膀胱がんになった板橋支部2人の仲間(防水・大工)が、昨年、労災申請を行ないました。建設業ではMOCAで初の申請です。東京土建は、膀胱がんを罹患し、過去にMOCAを使用したことある仲間に対し、労災申請をすすめていきます。本人、家族問わず組合に問合せください。

※今年12月22日には、過去(2年以上前)のMOCAによる膀胱がんの労災申請が時効となります。

MOCAのばく露期間・潜伏期間と膀胱がんの発症リスク

- ばく露期間...少なくとも5年程度のばく露で膀胱がんを発症する可能性があると考えられる。
- 潜伏期間...ばく露開始から10年以上経過した後に膀胱がんを発症する可能性が高い。

連絡先 所属支部もしくは 東京土建本部・労働対策部 03-5332-3971